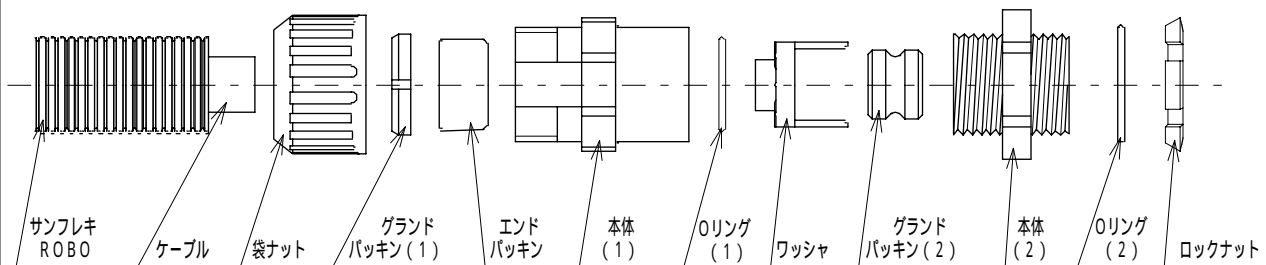


N2HBG 型コネクタの施工は、下記の要領で行って下さい。

1. サンフレキ ROBO 附属品 N2HBG 部品構成



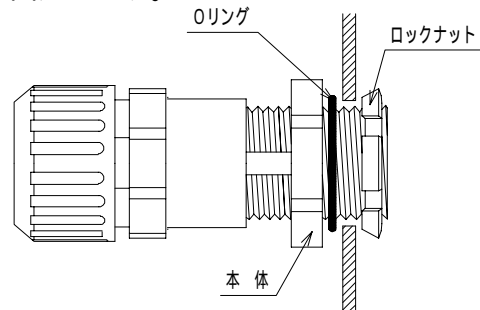
2. サンフレキ ROBO を必要な長さに切断します。

切断は、フレキシブルカッター（メリー製 品番 FL38）又はカッターナイフをご使用下さい。
切断は、サンフレキ ROBO の溝部に沿って、垂直に行ってください。

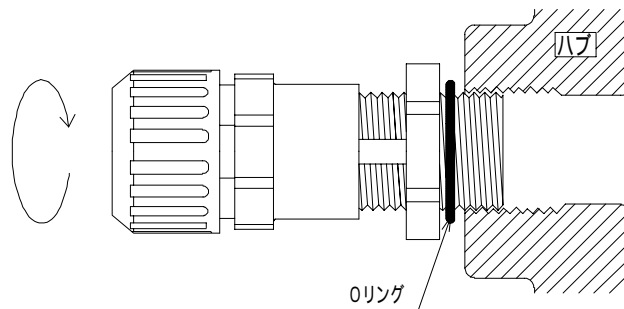
3. コネクタをボックス、機器等に取り付けます。

袋ナットを外す必要はありません。

ボックスコネクタをボックスのロックアウトに接続する場合は、防水のための O リングを介してロックナットで確実に固定します。

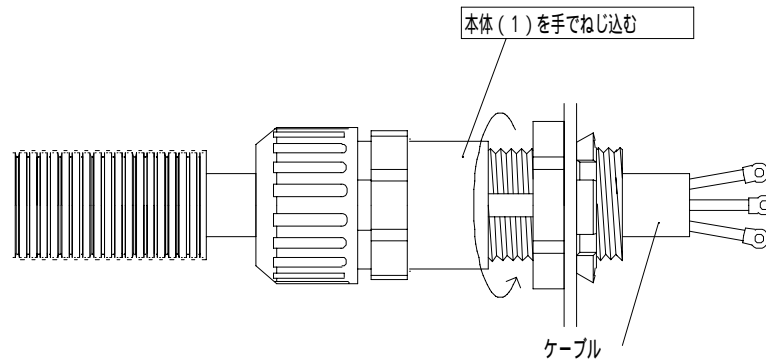


ボックスコネクタを機器のハブに接続する場合も、防水のための O リングを介して本体をハブにねじ込みます。



4.コネクタにケーブルを仮止めします。

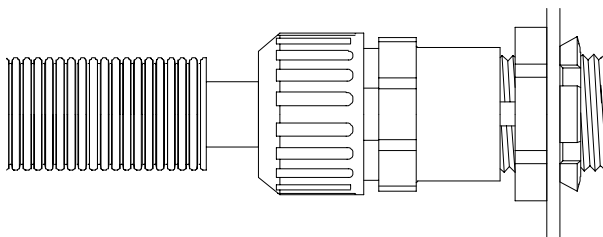
ケーブルを必要な長さまでコネクタに挿入し、本体(1)を手でねじ込み、仮止めして下さい。



5.ケーブルを固定します。

本体(1)を縦型アルミモーターレンチ(トップ工業株)等を用いて、ケーブルを手で引っ張っても抜けない程度にしっかり締め付けて下さい。

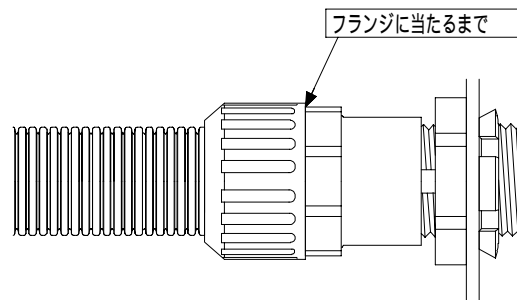
トルク管理が必要な場合は、右表を参照して下さい。ただし、ロボットケーブルのように柔軟なケーブルには $\times 0.4$ 程度が適切です。



ケーブル径(mm)		締め付けトルク (N・m)
最大	最小	
12	4	8.0
16	12	12.0
24	16	14.0
40	24	18.0

6.サンフレキ ROBO を接続します。

サンフレキ ROBO を袋ナットに確実に押し込んだ後、袋ナット端面が本体フランジ部に当たるまで、手で確実に締め付けて下さい、カチッと固定される感触があります。



締め付け後、袋ナットを逆回しにして袋ナットが戻らない事を確認して下さい。

作業終了

注意ハーネス作業等で、コネクタをボックス等に固定する前に接続を行う場合、本体(2)をバイス等で固定して、本体(1)を締め付けて下さい。本体(1)を固定した状態で本体(2)を締め付けた場合、ケーブルが共回りしてねじれが生じ、断線する恐れがあります。